

茨城県で豚流行性下痢(PED)が続発!

【概要】

<1例目>

発生場所 : 茨城県県央部
 飼養状況 : 1,665頭 (種豚15頭、母豚150頭、子豚1,500頭)
 発生頭数 : 種豚 : 2頭 母豚 : 21頭
 子豚 : 165頭(うち死亡頭数 約131頭)

<2例目>

発生場所 : 茨城県県央部 (1例目農場から約600mの位置
 ※疫学関連は不明)
 飼養状況 : 1,720頭(種豚20頭、母豚200頭、子豚1,500頭)
 発生頭数 : 種豚 : 4頭 母豚 : 34頭
 子豚 : 180頭(うち死亡頭数103頭)

<臨床症状等>

下痢、嘔吐、母豚の泌乳停止、日齢や季節を問わず感染、若齢豚で死亡率が高く、ウイルスは糞便中に排泄され、経口または経鼻感染する。

<遺伝子解析>

2例とも先般沖縄県(9月発生)で分離された株と同じく、遺伝学的に過去の国内分離株とは明確に区分され、近年米国及びアジア諸国で流行している株と近縁。

<疾病対策>

病原体の侵入防止、ワクチン接種



☆ 家畜保健衛生所からのお願い ☆

外部からのウイルスの侵入を防ぐため、消毒の徹底や野生動物の侵入防止、部外者の出入り制限をお願いします。

また、県外から豚を導入される場合には事前に家畜保健衛生所へお知らせください。